



安田 直史

(近畿大学社会連携推進センター教授)

- 元は外科医ですが、国際保健を志して公衆衛生を学び、JICA、WHOの専門家を経てユニセフでアジア、アフリカの母子保健、HIV対策に携ってきた。
- 国連時代にMDGs、SDGsに関わった経験を活かし、現職では若者が本当のSDGsを考える機会を提供している。

誰ひとりとり残されない！ SDGsの理念はいまどこに？

第9回 関西グローバルヘルス (KGH) の集い
日本WHO協会・生産技術振興協会 ジョイントセミナー

2020.6.3

近畿大学 安田直史

ミレニアム開発目標（MDGs） 2000-2015（SDGsの前身） からの反省



世界の絶対貧困率は1990年の36%から2015年には12%に低下！

しかし、これは「**平均値**」のマジックでした

- 人口の多い中国とインドが大躍進したのが成功要因
- アフリカの最貧国・小国はほとんど変わっていない。

（つまり、初等教育の普及率を上げたければ、障害児や少数民族の子には全く目を向けなくても「平均値」は達成できるというわけ）

➡ 「公平性をもってMDGsを達成しなければならない！」
“Achieving the MDGs with equity”

誰ひとり取り残されない

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本日の私からのキーワードは2つ

- 誰ひとり取り残されない (No one will be left behind)
- 世界を違う形に作り替える (Transform our world)

誰ひとりとり残されない

とり残されがちな人々の例

- ホームレス
 - 貧困家庭
 - 障害者
 - 移民労働者・在日外国人
(特に不法滞在)
 - LGBTQ
 - 少数民族、被抑圧民
 - 感染症被害者（ハンセン病、HIVなど）
 - 難民、避難民
 - 受刑者
 - . . .
- ブルンジ難民キャンプの子どもたち
 - タンザニアでアルビノのために差別された子どもたち
 - 一日中岩を砕いていた子どもたち
 - ミャンマーの高速道路脇にできた移民スラムの子どもたち
 - ベトナムの山岳少数民族の子どもたち
 - ザンビアの孤児院のHIV孤児たち

保健医療分野で考えると・・・

「予防のための情報, 検診, 予防接種などを受ける。」
「病気になったら医療を受ける。」

日本では常識だが
世界では違う

- すべての人が医療や、保健サービスを利用できているわけではない。
- なぜ利用できていない（とり残されている）のか？
 - 医師看護師の言語が理解できない、
 - 知識・教育がなく理解できない、
 - 病院への距離が遠い、
 - 病院で差別を受ける（宗教・民族）、
 - 支払うお金がない（保険がない）、
 - 生活のためにリスクを冒さざるを得ない、

Covid-19に関して
マドンナがYoutubeに
こんな動画を挙げています。

本当でしょうか？

「金持ちだろうと有名人だろうと関係がない。面白い人でも、頭が良くても、どこに住んでいても、何歳であってもかかる。どんなにすばらしい話を語れたところで意味はない」

「すべてを平等にするのが素晴らしい。恐ろしさが素晴らしさになる。」

<https://www.youtube.com/watch?v=5UYU4SIh34I>

米国では

- 全米で黒人の感染率が高い
- ニューヨーク市では黒人の死亡率が2倍

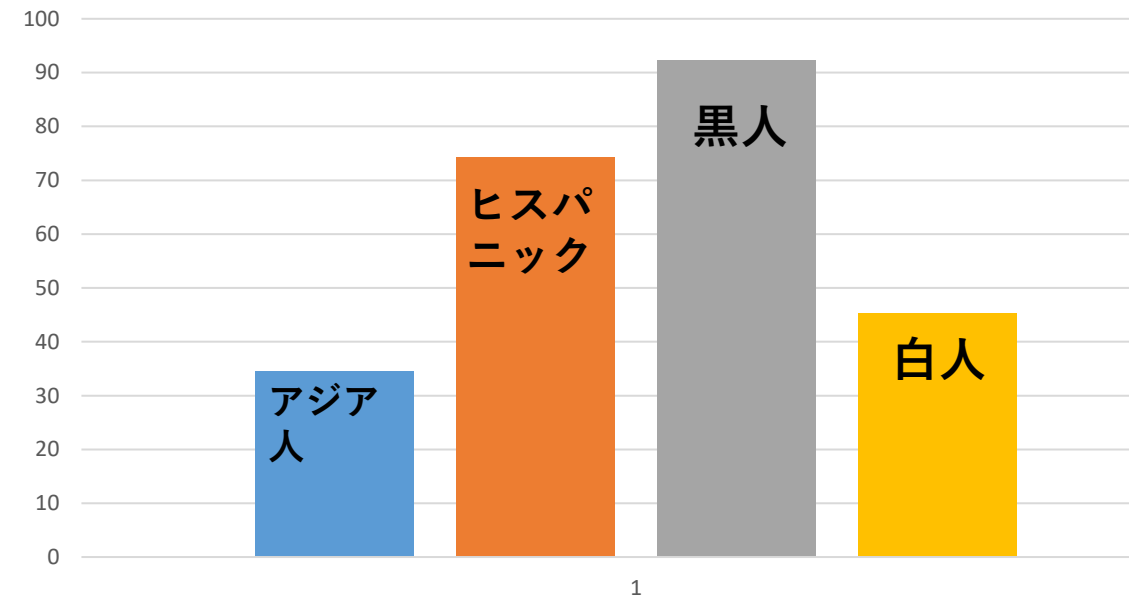
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/need-extra-precautions/racial-ethnic-minorities.html>

英国でも

- BAME (Black, Asian or Minority Ethnic) と呼ばれるグループに多い。
- 黒人は白人の2倍以上（感染率、死亡率）
- また、貧困地域では裕福な地域の2倍以上

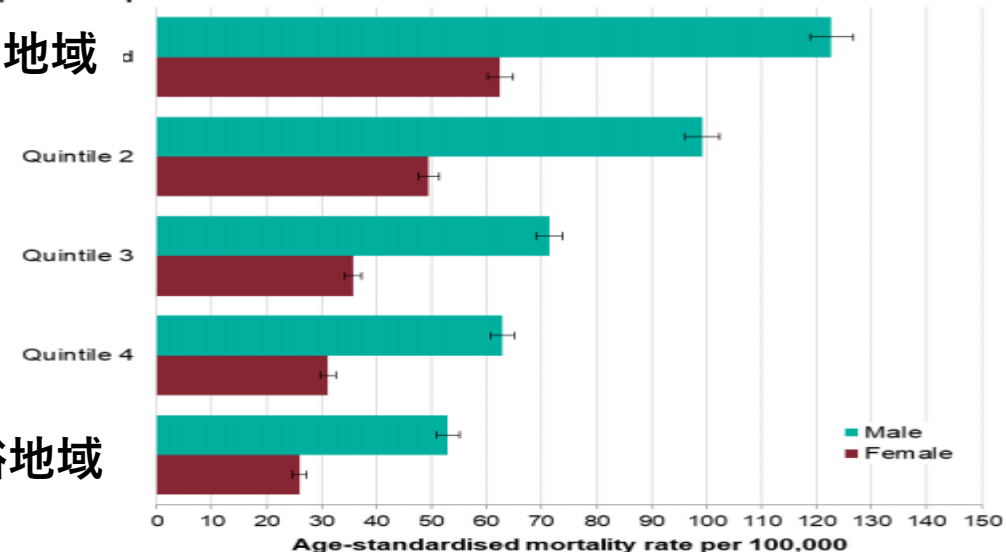
(“Disparities in the risk and outcomes of COVID-19” by Public Health England)

人口10万人当たりの死亡率（NY市）



IMD 2019 deprivation quintile

最貧困地域



人種差はなぜ？

生物学的な差（人種差、民族差）を未だ否定はできないが、

- 居住条件
 - 人口密度、多世代同居、人種による集住
- 仕事条件
 - 休めない（エッセンシャル・ワーカー）
 - 休業補償/有給休暇がない
- 保健医療条件
 - 保険がない
 - 合併症（肥満や糖尿病）
- その他
 - 文化習慣

高齢者（特に介護施設）

Covid-19による死亡のうち高齢者介護施設での割合

国	割合	出典
米国	35%	New York Times 5月9日
スウェーデン	48.9%	BBC 5月19日
スコットランド	45%	BBC 5月15日
イングランド	27%	Public Health England 5月9日
アイルランド	62%	Euronews 5月12日

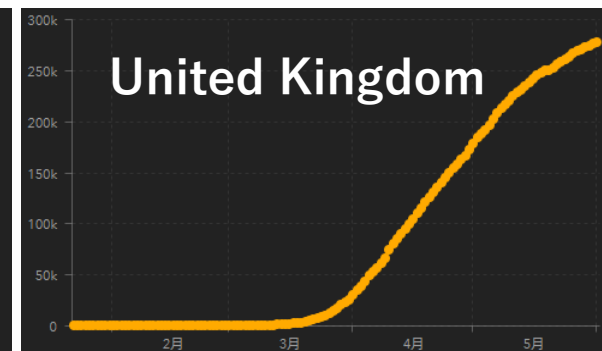
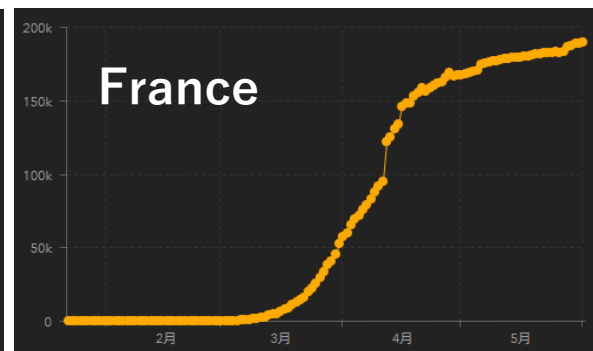
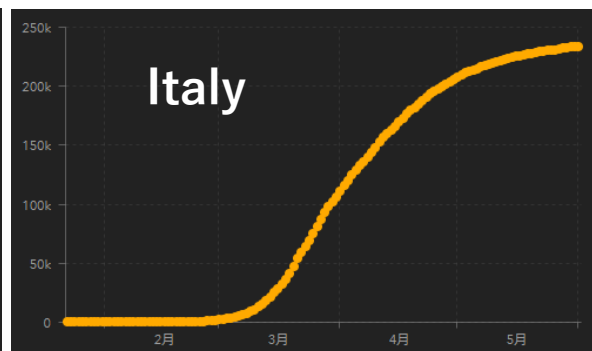
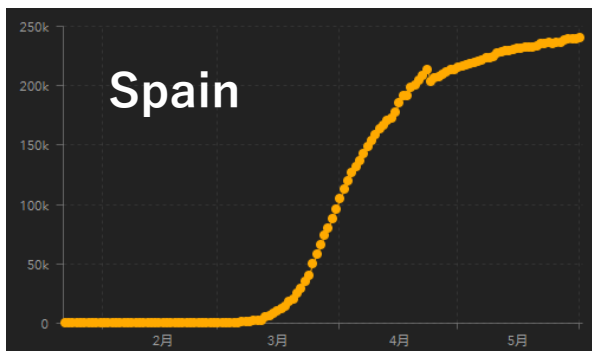
- その他、イタリア、スペイン、ベルギー、フランスなどでも40～60%

貧困国がとり残されてはいけない

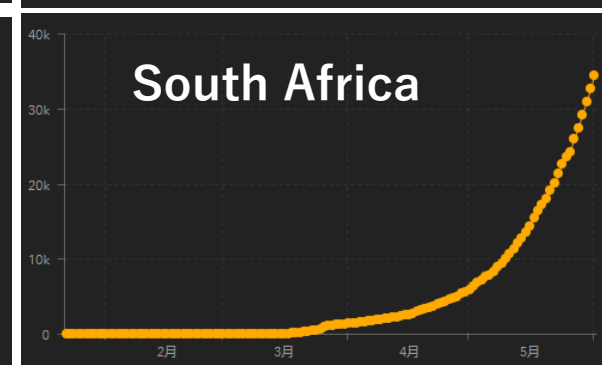
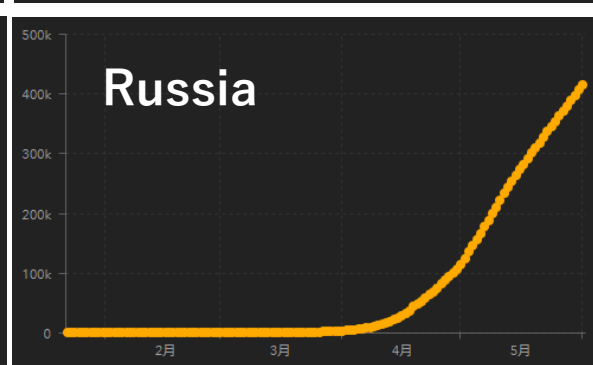
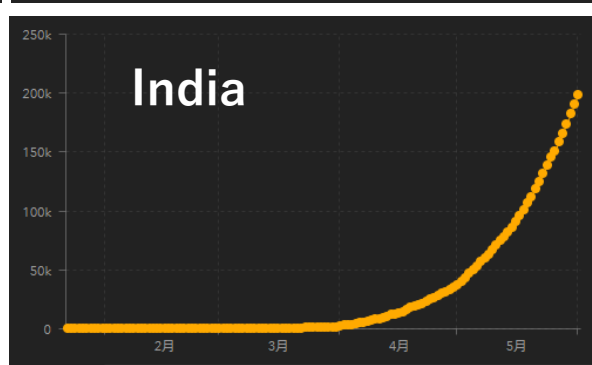
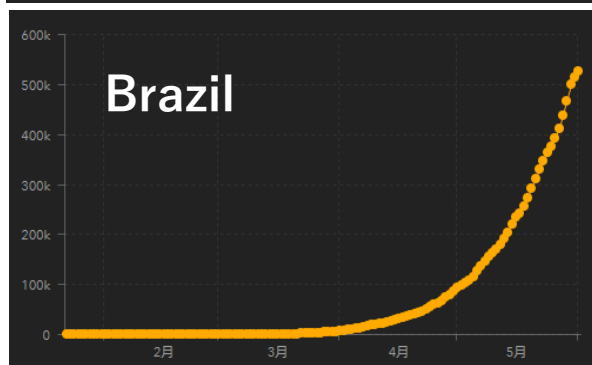
国連：世界の連帯が足りないと警告

(Johns Hopkins Univ CSSEより 6月3日)

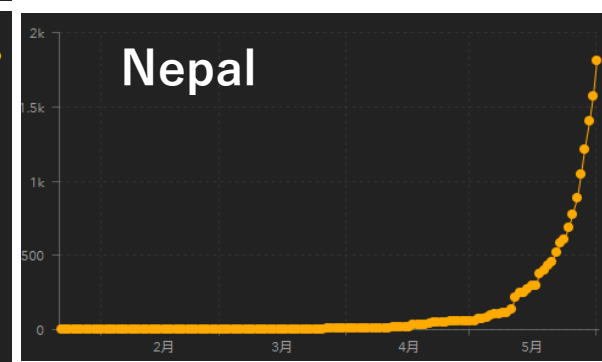
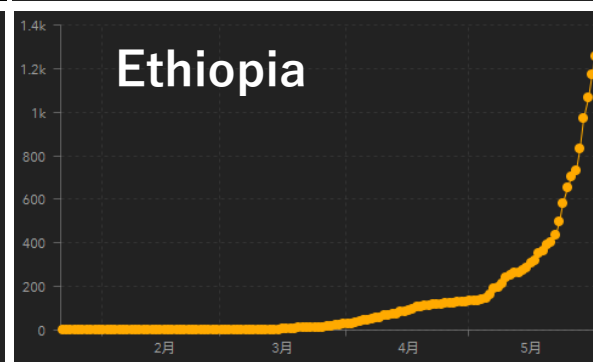
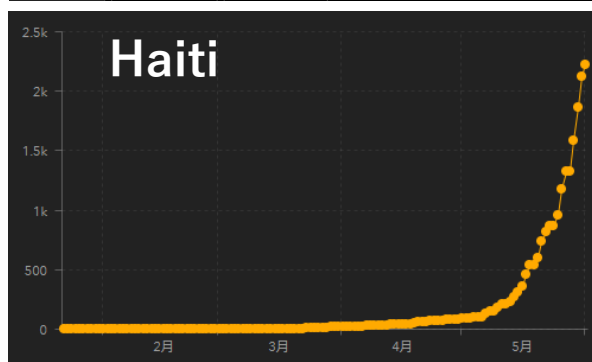
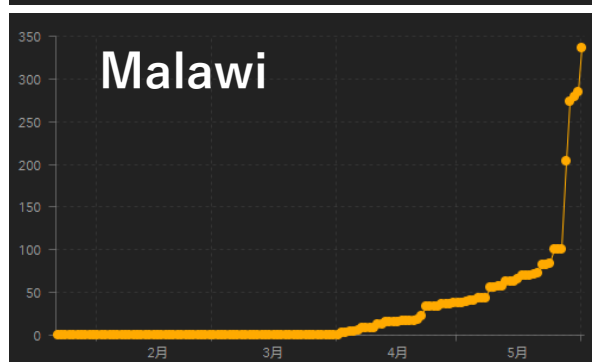
欧州先進国



新興国



最貧国



**「誰ひとりとり残されない」を
今こそここに！**

SDGs : too important to fail (失敗は許されない)

- これまでの4年半で
 - “SDGs”という語の知名度はアップした
 - 政府や企業や大学は今までやってきたこと、どうせやることをSDGsの17の目標に結び付けて報告・広報
 - 会議や集まりにはSDGsバッジをつける習慣
- 元々、SDGsが求めたのは“Transform the world”
(世界を違う形に作り替える) だったはず。

Resolution adopted by the General Assembly on 25 September 2015

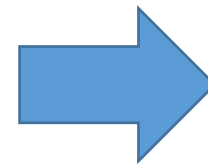
[without reference to a Main Committee (A/70/L.1)]

70/1. Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

国連総会で採択された
文書のタイトル

昨年、SDGsのポスターデザインが変更された。

「我々の世界を違う形に作り替える」はどこへ行ってしまったの？



2019.8～



Covid-19はチャンス！

「災い転じて福に」

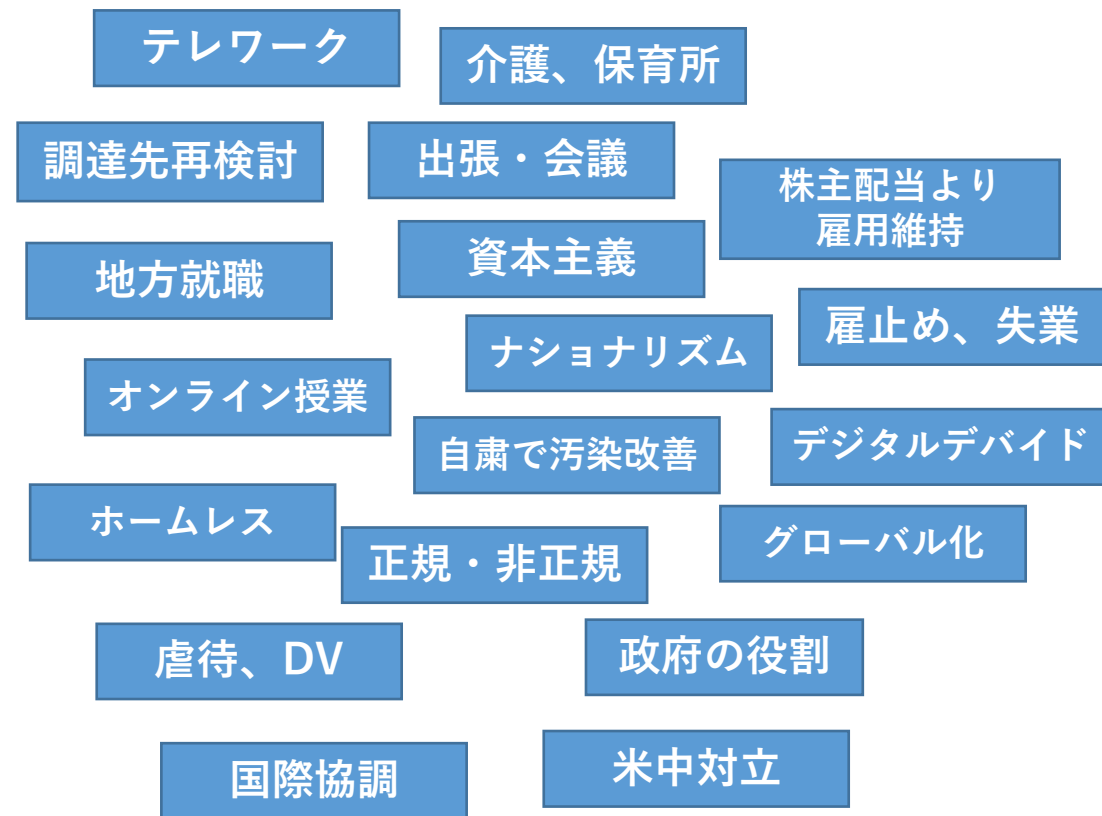
社会がいろいろ変わろうとしている



元どおり
？

より
良い形？

より
悪い形？



今こそSDGsが問われる
誰ひとり取り残されない世界に
作り替えられるか？

ご清聴ありがとうございました。